

広報すぎなみ



Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

7/15
令和6年(2024年)
No.2382

阿佐ヶ谷の夏を
熱く盛り上げる！

今夏、68回目の開催となる阿佐谷七夕まつり。阿佐ヶ谷の夏の風物詩として知られ、5年度は106万人が訪れました。最大の見どころはアーケードからつるされた数々の「はりぼて」。バラエティ豊かな作品が歩く人の心を弾ませます。今号では、阿佐谷七夕まつりを支え続けるはりぼて職人の皆さんにお話を伺いました。



特集

阿佐谷パールセンター商店街

人
すぎなみビト

阿佐谷七夕まつり はりぼて職人

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



「広報すぎなみ」は月2回(1・15日)発行。新聞折り込みでの配布のほか、区施設・区内各駅などの広報スタンドに置いています。入手が困難な方には個別配布をしています。ご希望の方は、電話・ファクス・Eメール・LoGoフォームからお申し込みください。

詳細は、区ホームページ(右2次元コード)をご覧ください。



はりぼて職人 浜野太一郎さん 流行にとらわれない、個性的な作品を目指して作ってきました



浜野太一郎 (はまの・たいちろう) 昭和21年生まれ。家業の洋品店と喫茶店を継いで阿佐谷七夕まつりに参加して以降、50年にわたりはりぼて作りを続けてきた。5年度の作品は区長賞を受賞。

—阿佐谷七夕まつりのはりぼて作り始めたきっかけは何ですか？
生まれが上野で、幼少期に阿佐ヶ谷へ引っ越してきました。父が開いた洋品店と喫茶店を20代後半で継ぎ、祭りに関わるようになりました。それまではりぼて作りは父が全て担当していて、私はやったことがなかった。でも、小さい頃からものづくりが好きで、父がはりぼてを作っているところをずっと見てきたこともあり、面白そうだなという気持ちが大きく、まずは自己流で作り始めました。

—浜野さんのはりぼて作りのこだわりポイントを教えてください。
阿佐谷七夕まつりのはりぼては、そのときの世相や流行を表している作品が多

いのですが、私はあまり流行にとらわれず、自分が気に入ったものをモチーフに選びます。例えば外国の仮面であったり、物語であったり。それらをモチーフに、ちょっとおしゃれで変わった作品を作るのがこだわりと言えるかもしれません。モチーフを決めたらまずイラストに起こして、寸法を決めて立体に形作っていく。何年も作り続けていると、平面図さえあれば立体にしたときの感覚がつかめるようになってきます。いろいろな作品を作ってきましたが、20体以上の猫のはりぼてを作って構成した作品は、なかなかの大作でしたね。今年は招き猫をテーマに、改めて「阿佐谷パールセンター商店街へようこそ！」という気持ちを表現しようと制作中です。

—浜野さんは阿佐谷七夕まつりを次世代に繋ぐ活動もされていますね。
毎年大勢の人で賑わう一方で、商店街が時代とともに変わりつつあることを背景に、はりぼてなどを作って飾る店は年々少なくなっています。阿佐ヶ谷で誕生し、せっかく続いてきた祭りなので、次世代に継いでいくこともやはり大切なこと。5年は杉並第七小学校で出張授業を担当し、阿佐谷七夕まつりの歴史やはりぼてがどのように作られているのかなどを子どもたちに教えました。話を聞いた子どもたちが「作ってみたい！」と興味を持ってくれたのは嬉しかったですね。自分たちで作ったはりぼてが、自分たちのまちに飾られる喜びを、子どもたちにぜひ味わってほしいです。



浜野さんの個性が光る 20体以上の猫のはりぼて！

はりぼて職人 サポーター 太田泰司さん はりぼて制作初心者でも参加しやすい阿佐谷七夕まつりを目指して

—いつから、どんな形で阿佐谷七夕まつりに関わるようになりましたか？
阿佐谷七夕まつりのはりぼては、80歳になる父が今でも現役で作っています。ですから、僕自身は店のはりぼては作りませんが、商店街の仲間として、阿佐谷七夕まつりの準備で忙しくなるこの時期に、裏方的な立場であちこちをサポートしています。初めて参加する人々には、一緒にやりながら作り方のコツを教えてください。
また、はりぼてを作ったことのない店の人たちに「一緒に作りましょう！」と呼びかける活動にも力を注いでいます。阿佐谷七夕まつりは商店主たちがお客さんを喜ばせる心意気で作り上げてきた祭りですから、小さなはりぼてでもいいのでまず作る。作ってみると思っていたより大変で、苦労してできると凸凹でも愛情が湧くんです。そのはりぼてを飾って喜んでもらえる七夕まつりのやりがいを共有していきたいと思います。

—阿佐谷七夕まつりへの参加を促す活動とは、例えばどのようなことですか？
例えば、一般向けにプチはりぼてキットの用意があります。約1mのはりぼてを作るための材料が揃っていて、初心者でも取り組みやすいのがこのキットの魅力。はりぼてはお客さんが歩く頭上に吊り上げるものなので、安全性が何より大切で、それを担保するには「自由に作って参加してください」と間口を広げることはできません。でもこのプチはりぼてキットなら、風や暑さにきちんと耐えられる作品が作れ、僕も制作をサポートできます。



太田泰司 (おた・やすし) 昭和43年生まれ。阿佐谷パールセンター商店街に店を構えるかまぼこ店の3代目で、阿佐谷パールセンター商店街組合理事長。阿佐谷七夕まつりの参加店や一般参加の誘致・制作サポートなどを担っている。

—参加しやすいプチはりぼてキットを導入して変化はありましたか？
導入した年はキットを使った参加数は10体ほどでしたが、少しずつ増えて今では50体ほどに上ります。はりぼては作る人の個性が出るし、手作り感があるのがまた味わい深くていいところ。祭りの時期になると、区外へ出ていった地元の同級生たちが戻ってくるくらい、阿佐ヶ谷のまちを象徴する、地域に愛された大切な行事です。参加する人が増え、来場した皆さんに「私の七夕まつり」と愛着を感じてもらえる祭りを目指してこれからも活動していきたいです。



はりぼてや吹き流しでとても賑やか！



阿佐谷パールセンター商店街 阿佐谷七夕まつり はりぼて職人

はりぼて職人 丸山俊一さん プロの手を借りず、地域で作り上げるのが阿佐谷七夕まつりの魅力

—昭和29年の第1回目から阿佐谷七夕まつりに参加されているそうですね。
はい、私が小学校1年生のときにパールセンター商店街で阿佐谷七夕まつりが始まりました。一年の中でも真夏は客足が減り、商店街がいちばん暇な時期。そんな時期に一人でも多くのお客さんに来てほしいと考えたことが、阿佐谷七夕まつり誕生のきっかけです。商店街の人たちで東北の祭りを見に行き、たくさんのくす玉が飾られる仙台の七夕まつりからヒントを得て、阿佐ヶ谷の七夕まつりでもくす玉を飾ることになったようです。年を重ねるごとに、くす玉に加えて青森のねぶた祭りのようなはりぼても取り入れられるようになりました。

—初めての阿佐谷七夕まつりはどんな気持ちだったか覚えていますか？
家業が洋品店なので、手作りの花などで装飾したマネキンを店頭に飾ることに、その手伝いをした記憶があります。私の両親も杉並区出身で、夏休みに田舎へ行くという楽しみがなかったので、七夕まつりで人がたくさん集まり、賑やかになることが嬉しかったですね。最初は家の手伝い程度で参加していましたが、高校生になって初めて自分だけではりぼてを作って参加しました。そのときは確か漫画のキャラクターとUFOを作ったのかな。父がはりぼてを作るところをそばで見てきたので、見よう見まねで作って、その年以降も作るようになりました。

—印象深い思い出や嬉しかったことはどんなことですか？
いろんな思い出がありますが、50回目よりの作品は印象的です。それまでにないくらい大きな作品に挑戦したのですが、大きくしすぎてしまって、はりぼての内部に入らないと作業できなくなってしまったんです。当時は大変でしたが記念誌の表紙に採用してもらえたのは光栄でした。また、多



夜になるとライトアップで雰囲気ががらりと変わる



丸山俊一 (まるやま・しゅうち) 昭和23年生まれ。阿佐谷パールセンター商店街で洋品店を営む家に生まれ、第1回阿佐谷七夕まつりから参加。はりぼて制作歴は50年以上。これまではりぼて作りの技術を多くの人に伝えてきた。

くの人が上を向いて歩きながらはりぼてを眺め、「○○があるよ！」などと自分の作品を見つけて声を上げてくれる姿を目にするのは、毎年のことながらやはり嬉しいですね。

—長年関わってきた丸山さんから見た、阿佐谷七夕まつりの魅力とは？
阿佐谷七夕まつりはパールセンター商店街から始まりましたが、まち全体を盛り上げたいという思いから、名物のはりぼてのほかにも、毎年大きな竹を用意して、地域の人たちが願いを込めた短冊を駅前にも飾ることもしています。こうした企画の一つ一つを、プロの手を借りずに商店街や地域の人たちで作っていくのが、阿佐谷七夕まつりの魅力。ぜひ今年の阿佐谷七夕まつりにも期待してください。

出張授業で「はりぼて」の作り方を教えています！
区内の一部の小・中学校で行っている出張授業では、約2カ月かけて、世界に一つだけの「はりぼて」を作ります。
①骨組みを作る ②紙を貼る ③色を塗る ④つるして完成！

今年も開催！
阿佐谷七夕まつり
七夕飾りが阿佐ヶ谷の夏を彩ります。
日時 8月7日(水)～8月12日(休) 午前10時～午後10時
場所 阿佐谷パールセンター商店街、JR阿佐ヶ谷駅南口
星におねだり
短冊に願いごとを書いて、笹に飾りましょう。
8月7日(水)・8日(木)午後6時
JR阿佐ヶ谷駅南口
阿佐谷商店街振興組合事務所
☎3312-6181 (水曜日を除く)